

労災が起きたら会社はどう動く？

弁護士が
教える

初動対応と 紛争予防の実務

～労基署に「響く」意見書の書き方から訴訟リスク管理まで～

労災申請が提出された際、「まずは言われた通りに手続きを進めよう」と対応していませんか。実は、その初動対応にこそ、企業を脅かす大きな法的リスクが潜んでいます。近年増加しているメンタル疾患や過労による労災事案では、行政（労基署）の手続きだけで終わらず、企業に対する多額の損害賠償請求（安全配慮義務違反）へと発展するケースも少なくありません。事故直後の「何気ない一言」や「安易な事業主証明」が、後の裁判で不利な証拠となることもあります。労災の正しい理解は、使用者のリスク管理と労働者の安心を同時に高める、双方にとってのメリットになります。だからこそ、初動対応の質が企業と働く人の双方を守る「分岐点」になります。

本セミナーでは、使用者側の労働事件に精通した弁護士が登場し、「もし裁判になったら、この対応はどう評価されるのか」という司法の視点から、労災実務を徹底解説します。労基署に正しい事実認定を促すための意見書の書き方から、判断が難しい「私傷病休職と労災の交錯」への対応まで、現場で本当に使える実務ポイントをお伝えします。

日時

令和8年
10月21日(水)
10:00～16:30

受講
方法

① 会場受講
ウイックあいち
(愛知県産業労働センター)
あいち労働総合支援フロア(17階)
セミナールーム
名古屋市中村区名駅四丁目4-38

② WEB受講
(ライブ配信のみ) Zoomウェビナー使用
(Zoomアカウント不要、スマホ受講可)

受講料 10,000 円/名(消費税込)

※録画・録音は禁止。
複数人で視聴する場合は
人数分の申込み必須。

講師

杜若経営法律事務所
弁護士 樋口 陽亮氏



企業の人事労務を専門分野とし、企業のほか社会保険労務士などに向けた土業支援サービスを展開。日々の労務トラブルについて、使用者側の立場でアドバイスするほか、労災トラブル、解雇訴訟やハラスメント訴訟、労働組合対応など、多数の労働事件について代理人弁護士として対応。人事労務担当者・社会保険労務士向けの研修会やセミナー等も多数開催している。

こんな方にオススメの講座です！

人事労務担当者様や中小企業経営者様はもちろん、企業を支援する社会保険労務士の皆様にとっても必聴の講座です。

講義内容 / 各項目の詳しい内容はHPにてご確認ください。

- 1 労災保険の基礎と法的フレームワーク
- 2 「これは労災か？」
— 認定基準の構造と判断の分かれ目
- 3 労災発生時の初動対応と「労基署に響く」書類作成の実務
- 4 労災民訴の実際
— 裁判例から読み解く企業の責任と対応
- 5 私傷病休職と労災の交錯
- 6 弁護士目線の再発防止と法的リスクマネジメント

※講義内容は変更の可能性があります。



お申込み・講座詳細はこちらから

ホームページ(<https://ailabor.or.jp/rodo/>)
又は、左記二次元コードよりお申込ください。

はたらくネットあいち セミナー 検索

※後日、受講証・適格請求書をお送り致します。お申し込み後2週間を過ぎても届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。※お申込み頂きました個人情報(氏名・住所等)は、お問合わせや案内文書の送付、返信、本人確認のためだけに使わせて頂きます。これらの目的以外には、一切使用しません。(協会個人情報保護規程第4条に基づき取り扱います。)

【お問合せ】 キャリアサポートセンターあいち(労働教育)
(公益財団法人 愛知県労働協会)

☎052-485-7154 ✉rodo@ailabor.or.jp

🌐<https://ailabor.or.jp/rodo/>



LINE公式アカウント

各種セミナー・講座の
申込受付開始情報
をお届け！



メールマガジン

各種セミナー・講座の
定期的な開催情報・
リマインド情報
をお届け！

